

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
機能訓練 1											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	塚本哲也			実務 経験	有	職種	柔道整復師（介護施設にて勤務経験あり）				
授業概要											
機能訓練指導員として必要な知識を学びます。											
到達目標											
機能訓練指導員とは、日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止するための訓練を行う能力を有する者であり、通所介護事業などで利用者への機能訓練を行うことで、能力の維持向上を図ることが活動の主体となる。この科目では、高齢者の身体特性と慢性疾患・既往症・合併症ならびに機能訓練に必要なリハビリテーション知識と装具などの実際について理解することで高齢者福祉に貢献する人材を育成することを目標にしている。											
授業方法											
教科書を中心に実際の装具を用いた使用方法などの説明も含めて、学生が想像しやすい、より現場に近い内容で進めるものである。理学療法・作業療法・言語治療ならびに高齢者福祉についても理解を深める。多くの高齢者が要介護状態となることを予防して健康保持増進に努めることができるための学びに重点を置く。											
成績評価方法											
試験・課題等を総合的に評価する。											
履修上の注意											
国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書は「リハビリテーション医学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	リハビリテーションの概念と歴史（リハビリテーションの定義と概念）										
第2回	リハビリテーション医学（4つの分野、ICIDH/ICFについて）										
第3回	リハビリテーション医学の基礎医学①（運動学と機能解剖・障害学）										

## 柔道整復科

## 機能訓練 1

第4回	リハビリテーション医学の基礎医学②（拘縮治療・筋力増強訓練）
第5回	評価と診断①（身体計測・関節可動域測定法・徒手筋力テスト）
第6回	評価と診断②（中枢性運動障害の評価法）
第7回	評価と診断③（失認・失行・心理評価ならびに日常生活動作の評価）
第8回	7回までの振り返り/機能訓練実技（車椅子シーティング）
第9回	理学療法①（運動療法の種類と内容）
第10回	理学療法②（物理療法の種類と目的）
第11回	作業療法、補装具（作業療法の実際と補装具）
第12回	義肢、移動補助具（構成と分類/歩行介助・車椅子の取り扱い）
第13回	言語療法、失語症（言語療法の適応症と失語症の原因・分類・コミュニケーション）
第14回	13回までの振り返りと確認演習（ポジショニング）
第15回	リハビリテーションと福祉（福祉用具の選定）